㈱アンサーホールディングス

ステップアップ上場へ エリア拡大図る

三谷 俊介
アンサーホールディングス
社長

総合不動産業の㈱アンサーホールディングス（北九州市小倉北区浅野2丁目）は、1月に東京証券取引所の特定投資家向け株式市場「TOKYO PRO Market（東京プロマーケット、以下TPM）」に上場した。北九州市に本社を置く企業として初のTPM上場となった同社。「街を創る。人を創る。お客様の望む答え（ANSWER）を提供する。」を企業スローガンに、日々挑戦を続けている。三谷俊介社長は「第2創業期が始まり、次の目標はステップ上場。コーポレートガバナンスを強化し、確実に成長実績を突き進んでいきたい」と意気込む。

店舗展開では、4月に子会社の㈱Fun Chill（小倉南区湯川1丁目）を中核企業の㈱アンサー倶楽部に吸収合併し、「小倉東店」としてリニューアルオープンした。「今後は来春めどに福岡市に2号店の開設を計画している。県内の地盤固めと並行し、本州進出を視野にエリア拡大を図る」と攻めの姿勢を見せる。M&A戦略の推進で、グループ規模の伸長を目指す。

2月に6棟目となる自社企画デザイナーズ賃貸マンション「アクシオ北九州Ⅱ」（小倉北区浅野2丁目、総戸数36戸）が完成した。9階建てで、2階には交流スペース「アンサーラウンジ」を設置。社内の勉強会や懇親会への利用以外に、対外的な広報活動の場としても活用する。同シリーズでは、15階建ての「アクシオ三萩野Ⅱ」（同区萩崎町、総戸数66戸）が年内に着工予定で、24年3月の完成を計画している。

同社では、近年SNSマーケティングによる認知度向上に力を入れており、インスタグラムやユーチューブなど、さまざまな媒体を駆使。7月からはショートムービーサービス「ティックトック」の企業アカウントに社長自らが出演している。今年度は新卒20人の採用を予定しており、若年層への情報発信で人材確保につなげたい考えだ。

北九州市立大学に寄付金を贈呈

2月に左賀銀行SDGs私募債1億円を発行。これに伴い、北九州市立大学に寄付金20万円を贈呈した。「上場後半年が経過し、M&Aの打診や金融機関からのオファー増加など、信用力の向上を実感している。今後も地元貢献を続けていきたい」と三谷社長。5月には、（一社）北九州中小企業経営者協会の会長に就任した。「地域経済を担う経営者の役割は、今後ますます重要になる。情報提供や会員企業相互間での交流の場を設け、地域活性化と人づくりを目指す」と志高く取り組む覚悟を示した。